

1 教科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ課題を発見し合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を養う。

2 学習の到達目標・使用教材・評価方法

学習の到達目標	知識・技能	各運動・スポーツに関連する名称や高まる体力について理解している。各運動・スポーツの効果や学び方、安全な実施について理解している。各運動・スポーツの特性に応じた基本的な技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自己の課題を発見し、合理的な解決に向けた取り組みや目的に応じた運動の組み合わせを工夫して行うことができる。また、それらを他者に伝え互いに解決に向けた工夫をすることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるように、公正、協力、責任、共生に対する意欲をもち、健康・安全に留意して学習に積極的に取り組むことができる。
使用教材	新篇 新しい保健体育 中学保健資料ノート2年 その他（配布プリント・ロイロノート）	
評価方法	単元テスト、技能テスト、小テスト、振り返りシート、レポート、授業の様子	

3 学習のてびき

学習方法	学校	<p><授業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の面白さを味わうことができるように、積極的に参加しよう。 ・仲間と協力して課題に取り組みましょう。 ・決まりを守って安全に活動できるようにしましょう。 ・分かったことや疑問に思ったことなどを積極的に発表しましょう。 ・配られた資料をまとめましょう。 ・提出物の期限を守りましょう。 <p><レポート></p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや資料を利用して、調べまとめましょう。 ・工夫して見やすくしましょう。 <p><テスト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を教科書・ワーク・配布プリントを使って復習しましょう。 <p>分からないところや疑問点は先生に聞いてください。</p>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を家で復習しましょう。 ・動画や画像を見て運動のイメージをつくりましょう。

4-1 年間計画 【体育分野】

		単元名 【体育分野】	評価の観点
一 学 期	4 月	○体づくり運動 集団行動	○自他の心と体に向き合い体を動かす心地よさや楽しさを味わうことができる。 ○集団行動の基本を学び、集合、整列、列の整頓を速やかに行うことができる。
		○新体カテスト	○新体カテストの実施方法を理解し、正しく測定できる。
	5 月	○陸上競技 ・走り幅跳び	○スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶことができる。
		○体育理論	○運動やスポーツが多様な楽しさから生み出されたことを理解することができる。
	6 月	○体育祭に向けた 取り組み	○工夫して競技を行い、クラス全体のことを考え活動に取り組むことができている。
		○陸上競技 ・短距離走 ・リレー	○自らの走りを分析し、強みと弱みを捉え、走能力改善のために工夫することができる。 ○協力してバトンをスムーズに繋ぐことができる。
	7 月	○剣道	○相手の動きの変化に応じて行う構えや体さばき、基本打突や2段の技などをすることができる。伝統的な行動の仕方を大切にすることができる。
○水泳		○資料から様々な泳法や、着衣時の泳法について理解することができる。	
二 学 期	9 月	○ベースボール型 球技	○走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。
	1 0 月	○跳び箱運動	○基本的な技ができ、その技の完成度を高めることができる。
	1 1 月	○現代的なリズム ダンス	○リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせることで全身で踊ることができる。
	1 2 月	○体づくり運動 ○体育理論	○動きを持続するための運動を計画、提案し、体力向上の基礎をつくることができる。 ○「する、みる、支える、知る」といった関わりを理解することができる。
三 学 期	1 月	○ネット型球技	○ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。
	2 ・ 3 月	○ゴール型球技	○安定したボール操作から空間をめぐる攻防や作戦をたてて、協力して試合を展開することができる。

4-2 年間計画 【保健分野】

		単元名 【保健分野】	評価の観点
1 学 期	4 月	○傷害の発生要因	○傷害は人的要因と環境要因が相互に関わっていることを理解している。
	5 月	○交通事故の発生要因	○交通事故による傷害は人的要因や環境要因が関わっていることを理解している。
	6 月	○交通事故の危険予測と回避	○交通事故を回避するための具体的な方法を理解している。
	7 月	○犯罪被害の防止	○人的要因や環境要因から、犯罪被害の危険予測・回避ができる。
	8 月	○自然災害による危険	○自然災害による一時災害と二次災害を理解している。
2 学 期	9 月	○自然災害による傷害の防止	○災害時の危険を予測し、どのように備えるべきか理解している。 ○地域の人々とのつながりが災害への備えになることを理解している。
	10 月	○共に生きる	○心肺蘇生法の重要性を理解し、実践できる。
	11 月	○けがの応急手当	○適切な応急手当の方法を理解している。
	12 月	○生活習慣病の予防	○生活習慣の乱れは生活習慣病の要因となることを理解している。
	12 月	○がんの予防 ○喫煙の害と健康	○がんの早期発見、回復、予防について理解することができる。 ○喫煙や飲酒は心身に影響を及ぼし、健康を損なうものであることを理解している。
3 学 期	1 月	○飲酒の害と健康	○薬物乱用は心身に影響を及ぼし、健康を損なうだけでなく、社会的にも大きな影響を与えることを理解している。
	2 月	○薬物乱用の害と健康、社会への影響	○喫煙、飲酒、薬物乱用の背景にある要因について理解することができる。
	3 月	○喫煙、飲酒、薬物乱用の要因と適切な対処	